

「日本海溝海底地震津波観測網の整備及び緊急津波速報（仮称）に係るシステム開発」に係る評価の視点（又は確認すべき事項）（メモ）

平成 23 年 10 月 26 日
評価専門調査会事務局

【視点 1】目標設定の妥当性

- ・プロジェクト全体及びそれを構成する課題ごとの達成目標及びその設定根拠は具体的に明確にされているか。
- ・プロジェクトの達成目標については、「緊急津波速報」のユーザーとなる気象庁等関係機関や地方自治体と共有されているか。

【視点 2】マネジメントの妥当性

- ・プロジェクトの推進主体及び研究開発等の実施主体各々の体制と役割分担は明確となっているか。特にプロジェクト推進主体の責任者及び権限は明確にされているか。
- ・本プロジェクトで構築される観測網については、将来にわたり、継続的かつ効率的な運営体制が構築される計画となっているか。

【視点 3】社会実装に向けた仕組み

- ・今回計画されている観測網を利用した「緊急津波速報」実現に向けた予測システムの開発と「緊急津波速報」を住民に確実に届けるための仕組みについて、その実効性を確保するために、気象庁、地方自治体等と具体的な検討が進められているか。

【視点 4】観測網の整備についての計画の妥当性

- ・本プロジェクトにおける観測網整備にあたって、設置場所や設置の順番に関する適切性など整備計画の考え方は明確になっているか。
- ・これまでの地震計等は気象庁、防災科学技術研究所、大学等で設置・運営されているが、これらとの役割分担は適切か。
- ・本プロジェクトにおいて整備する観測網について、今回行う「緊急津波速報」実施に向けた予測システムの開発の後、同観測網を研究開発において継続的に有効に活用していくための研究計画は検討されているのか。